

井原さくらライオンズクラブ会報

アクティビティ報告

ゴルフ部

忘年コンペ (12/9)



ZC杯コンペ (3/9)

飯居ZC始球式



第12回井原さくらLC杯争奪 少年少女バレーボール大会 (1/14)

極寒の体育館で、汗を流して白球を追う子ども達の姿に感動しました。



産業まつりでもちつき (4/5)

事業資金獲得のため、つきたてのお餅を販売しました。よもぎ摘みから、前日のあんこ丸め、そして当日の準備から片付けまで、みんなの労力奉仕のおかげで収益もあがりました。



CSFII (視カファースト)

ライオンズはこの15年間の失明予防事業だけでなく、更にその65年も前から「盲人のための騎士」として視力回復のための活動を行ってきました。15年間でライオンズの失明予防及び視力回復の恩恵を受けた人々は、2,400万人にも上ります。これはニューヨークと東京の総人口を足したよりも更に多い人数です。視カファーストは非常に大きな成果を残しました。しかし、ライオンズの「視力をすべての人に」という理想は実現されていません。世界人口の増加と高齢化は、新たなチャレンジを必要としています。視カファーストがスタートしたころとは眼病のパターンも変化し、世界中で深刻な脅威となっています。視カファースト・キャンペーンII(CSFII)は、視カファースト・プログラムに充てる1億5,000万ドルを調達するために世界46,000クラブ、140万人の全会員が行う世界規模の資金獲得事業です。

3年前からの計画で、メンバー1人当たり\$405の目標が設定されていましたが、5名のMJFもプラスして、本年度でクラブとしての目標は達成できました。ありがとうございました。



メルビンジョーンズフェロ一(MJF)
...1人\$1,000の寄付をされた5名(2回目の人はピンのみ)



新しい仲間

5/22 佐藤 勤さん<(株)サンアート>
細羽 庸さん<(株)西部観光バス>のお二人を迎えました。



写真だけですが、第3号をお届けすることができました。中国地方の入梅が遅れていますが、これも地球環境の異変でしょうか?
I・T・P・R・会報編集委員会

少年野球木之子大会 (4/13)

18チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

